

# 広報

# ひこね

2018

12/15

## 第12回 ふなはしせいいち 舟橋聖一文学賞

### 『せい や こう こう星夜航行』 (小説)

飯嶋 かずいち 和一さん  
(東京都文京区)



写真提供 新潮社

舟橋聖一文学賞は、文学の振興を通じて、市民が豊かな心を育み、香り高い文化を築くため、彦根市の名誉市民である作家の故 舟橋聖一さんの文学の世界に通じる優れた文芸作品に贈ります。

この賞は、公募式でなく、基準日を設け、その基準日より前のお

おむね1年間に新しく単行本として刊行された優れた小説を対象としています。

「舟橋聖一文学賞」が「青年文学賞」「文学奨励賞」に応募する人の刺激となり、創作活動の目標、励みとなるように、また、広く地域文化の振興が図れるよう期待します。

### プロフィール

1952年、山形県生まれ。1983年、『プロミスト・ランド』で小説現代新人賞を受賞して小説家デビュー。1988年、『汝ふたたび故郷へ帰れず』で文藝賞、2000年、『始祖鳥記』で中山義秀文学賞、2008年、『出星前夜』で大佛次郎賞、2016年、『狗賓童子の島』で司馬遼太郎賞を受賞。

著書はほかに『雷電本紀』『神無き月十番目の夜』『黄金旅風』がある。

### 授賞式を行いました

12月1日、舟橋聖一文学賞と舟橋聖一顕彰文学賞の授賞式を彦根ビューホテル(松原町)で行い、受賞者の皆さんへ市長から賞状が授与されました。

問い合わせ先 市立図書館  
☎ 22-0649  
FAX26-0300

